

学科名	ＩＴスペシャリスト科
コース名	
授業科目	情報系資格対策講座 3
必選	必
年次	2 年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	60
単位数	4
担当教員	白幡
実務経験	有
実務経験職種	システムエンジニア
授業概要	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。
到達目標	情報処理技術者試験に合格することを目指す。経営者の方針を理解し、経営を取り巻く外部環境を正確に捉えるための動向や事例を知ることが合格水準であり、合格すると企業就職後の即戦力、中核的人材となる素質をもつことを証明でき、システム開発においては設計～運用・保守において上位者の方針を理解し、自ら技術的問題を解決できるようなワンランク上のＩＴエンジニアになるために必要な技術的知識が得られる。
授業方法	情報処理技術者試験に合格すること为目标に、試験範囲の講義に加え、過去問演習、解説を行う。習熟度確認のための小テスト、e-ラーニングによる家庭学習課題等、授業の進捗に合わせて適宜実施し、評価に組み入れる。また、前回の講義内容を理解し習得済みであることを前提とした講義を行う。理解不足は放置せず、復習してから講義に臨む必要がある。
成績評価方法	目標としている試験への取り組み状況、試験申し込みと受験の実績、および可否の結果を総合的に評価する。
履修上の注意	資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることがを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	資料を配布する

授業計画	
第1回	ガイダンス情報表現について（本講義の意義を理解する。また、試験概要、出題範囲について知る。基数変換、負数表現を学び、過去問題を理解して解くことができる）
第2回	情報と情報の利用（文字コードなどコンピュータの情報表現を学び、情報整理分析手法の利用法を身につけ、過去問題を理解して解くことができる）
第3回	コンピュータの種類と動作原理（コンピュータの種類や動作原理、周辺機器の種類と役割について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第4回	ネットワーク(1)（インターネットの基礎知識、ネットワークの概要、トポロジについて学び、活用できる）
第5回	ネットワーク(2)（LANの構築、ネットワークセキュリティについて学び、過去問題を理解して解くことができる）
第6回	アプリケーションソフトの基礎（ソフトウェアの種類と利用法（プレゼンテーション、データベース、表計算）について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第7回	表計算ソフトの仕組み（表計算ソフトの仕組み（絶対/相対参照、関数、グラフ）を知り、活用できる）
第8回	情報モラル、セキュリティ（情報ネットワーク社会への対応、モラル、セキュリティについて学び、過去問題を理解して解くことができる）
第9回	経営戦略とシステム戦略（企業活動の目的や経営管理、組織についてや、企業会計や労働、取引関連法規について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第10回	プロジェクトマネジメント（システム開発の流れ、PM、監査、サービスマネジメントについての知識をつけ、過去問題を理解して解くことができる）
第11回	過去問題演習(1)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（ストラテジ系の対策を万全にする））
第12回	過去問題演習(2)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（マネジメント系の対策を万全にする））
第13回	過去問題演習(3)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（テクノロジー系の対策を万全にする））
第14回	過去問題演習(4)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（アプリケーションソフト問題の対策を万全にする））
第15回	過去問題演習(5)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（総合問題演習を行い合格ラインの点数を取る））